

特集：地域研修会

「無料塾」という生き方

青少対のページ

▶ 事務局長コラム

▶ 令和6年度青少対活動報告

地域のページ

▶ 昔ながらの文化を伝承する取り組み

▶ 中山地区今昔写真コーナー

まんがのページ

▶ 「ちょっと待って！ そのバイト、本当に大丈夫？」の巻

温かいおせっかい

青少年対策中山地区委員会

会長 森直美

新たな門出の季節になると、母が恥ずかしそうに話してくれた、ある出来事を思い出す。「今日ね、制服着た男の子に、今頃なんしょーとね。学校がありよう時間じゃないとね。」と声かけたら、後ろから、すみません、就職試験の帰りで。と先生が教えてくれたんしゃったとよ。もう、気まずかった。」「聞けば、私が通っていた中学校の先生と生徒だったらしい。先生は、「声をかけていただき、ありがとうございます。」と言っています。これからもお願いします。」と言って、立ち去られたそうだ。

母は、おせっかいだった。それを若い頃は疎ましく思ったこともあった。きつと、あの時の中学生も、そう感じたのではないだろうか。人との関係が時代と共にだんだん希薄に。地域のおばちゃんの小さな親切大きなお世話。こんなおせっかいおばちゃん存在が、今、必要な時代なのではと改めて思っている。

はくさんバックナンバー



八王子 中山中 HP

→青少対→広報紙はくさん

特集：令和6年度青少対地域研修会

「無料塾」という生き方

～教えているのは、希望。～

講師：小宮 位之

(認定NPO法人八王子つばめ塾理事長)

2025年1月25日(土) 14:30~16:30

会場：高嶺小学校 4階 図書室

会場&オンライン
開催

(参加者)
会場：39名
オンライン：11名

2024年7月に
テレビ朝日で放映された
「日本のチカラ」も
視聴しました！



認定NPO法人八王子つばめ塾とは？

経済的に苦しい家庭の小中学生のために無料学習支援を行っている団体。その他、やる気のある学生を応援するための返済不要の奨学金制度(学費、教科書購入、資格受験料)、フードバンクと連携し食料提供、BBQ大会、受験生激励会、卒業遠足など、学びの仲間とのお楽しみイベントも行っている。

2012年の設立以来、300名を超える卒業生を高校や大学に送り出す。
教室は八王子市内に4か所(元横山、八王子駅前、南大沢、北野)。
ボランティア講師40名、生徒32名(2025年1月現在)



つばめ塾の理念

完全にボランティアで教えてくれる講師から学んだ子どもたちが
「いつか自分も人の役に立つ人になろう」
と思う「人材」に育つこと



ツバメは巣立って、また同じ巣に戻ってくる。100%ボランティアで成り立っている場から巣立った卒業生が、ボランティアというフィールドに戻ってきて欲しい。そんな願いを込めて「つばめ塾」と名付けられた。戻る巣は、つばめ塾でなくても構わない。地域のスポーツチームのコーチでも、子ども食堂でも、人の役に立ちたいと思う人に育ってほしいという想いが込められている。

つばめ塾のいろいろ

どうして無料塾を始めたの？

小宮さん自身が貧困家庭で育ち、高校を退学させられそうになったり、大学進学を諦めさせられそうになったりした経験があった。
勉強が好きで、社会科の教師になりたかった学生時代。「どんなに力や夢があってもお金がなかったら学べない」ことを痛感した。
教員採用試験倍率が非常に厳しかった時代でもあり、まずは高校の非常勤講師になった。その後、生計を立てるため、映像制作の仕事に転職。仕事で世界の難民キャンプや少年兵士、東日本大震災被災地の取材をする。壮絶な現場を目の当たりにし、「何か人の役に立ちたい」と強く思うように。それが少年時代の経験と重なり、無料塾設立へ動き出した。



つばめ塾入塾の条件

- ①家庭が経済的に困っていること(証明書は不要)
 - ②他の有料塾、家庭教師に習っていないこと
 - ③「勉強をしたいという気持ち」があること
- *生徒の4割が母子家庭。6割はきょうだいが多い共働き家庭。



どうして無料でできるのか？

- ▶講師は無報酬、交通費無支給のボランティア。
- ▶賃料が極めて安い教室を使用。
- ▶寄付や企業の支援などで運営をまかなっている。

つばめ塾の財産＝講師のみなさん

大学生40%、現役社会人60%
公務員、現役教員、会社員、専業主婦、新聞記者、大手商社勤務の方など人材豊富。
生徒に寄り添う講師との出会いで、子どもたちに「がんばって勉強しよう！」という気持ちが生まれる化学反応の可能性がある。

子どもの現状

子どもたちの現状

- ▶子どもの貧困率：9人に1人(クラスに3、4人)
- ▶学習塾の通塾率：7割以上(月謝最低ラインは2~3万円)
- ▶公立中学校での補習はほとんどない→教育格差を広げる要因のひとつ
- ▶保護者が「人生再設計第一世代」*

*人生再設計第一世代

1972年~1982年ごろに生まれた世代。バブル崩壊の影響を受け、就職が非常に厳しかった。現在でも、非正規雇用、リストラ、シングルマザー、精神疾患で働けない等、経済的に困難な家庭も多い世代といわれている。

進学の実状

- ▶高校進学率：98.4%。ほとんどが進学。
- ▶高卒後の進学率：85%(東京)。高卒就職者は少数。
- ▶授業料の高騰→高卒後の進学が困難な時代
(例)私大文系 S50年=18万円 → R3=96万円(5.3倍！)
しかし、物価(賃金)は2倍にしか上がっていない・・・
- ▶奨学金は入学後に支給→入学金+前期授業料を入学前に支払わなくてはならない。

講師プロフィール：小宮 位之

認定NPO法人八王子つばめ塾理事長。1977年東京都生まれ。妻、息子3人と暮らしている。
貧困家庭に育つ。都立南多摩高校、國學院大学文学部史学科卒業。私立高校の非常勤講師や映像制作の仕事を経て、2012年に無料塾である「八王子つばめ塾」を設立。無料塾を立ち上げたいという個人への助言活動も精力的に行い、全国で50か所以上の無料塾の立ち上げをサポート。現在は、NPO法人東京つばめ無料塾の理事長を兼任しながら、東京薬科大学と私立高校で非常勤講師、病院で事務職として勤務。新聞、TV、ラジオ等、多数メディアに出演。



著書

「無料塾」という生き方
— 教えているのは、希望。

著：小宮 位之
画：羽賀 翔一
出版社：ソシム



今日すごい生き方に会ってしまったと思いました。
潔くて気持ちよくて迷いが無い。
君たちはどう生きるか？
と問いかけられたと思います。
小宮さんの行動力に感心してばかりの、あっといふ間の2時間でしたが、何か自分にもできることがある気がしてきました！！
君たちはどう生きるか？
わたしはどう生きるか！
(北野台在住 保護者)

昨年7月テレビ朝日で放映された「日本のチカラ」を見た私は、「八王子つばめ塾」の活動に興味をもっていました。今回の小宮理事長の講演は大変感動と共感を呼ぶものでした。
特に、テレビでは扱われていなかった映像制作の仕事に転職され、①ウガンダ少年兵士の取材 ②レバノンのパレスチナ難民キャンプの取材 ③東日本大震災の取材などを通して、ご自身悩まれた体験報告には、私自身、自己に照らし合わせ、涙しながら拝聴しました。
日頃、「出逢いを大切に！」「積極的なコミュニケーションを！」をテーマとして生活している私にとって、大変貴重な研修会になりました。また、無料塾にかける熱き想いに深く感動いたしました。
(絹ヶ丘在住 70歳代)



地域のみなさんへ

ナナメの関係の大切さ

タテの関係＝保護者、先生
ヨコの関係＝友人、先輩後輩
ナナメの関係＝近所の人、何気ない関係

ナナメの関係の多様性が人間の成長には必要
母子家庭でこの関係を深く持っている人は少ない。
年収が100万円下がると、相談できる人が1人ずつ減ると言われている。

無料塾のことを広めてください

子ども食堂に比べて無料塾の知名度は非常に低い。
学力の二極化が進んでいる今、無料塾の話を知人にしていただくだけでありがたい！
近所の子どものために九九や小数分数を教えるなど、子どもたちのための活動をぜひ広げてください。

昔ながらの文化を伝承する取り組み

年末年始に、学校に門松が飾ってあることに気が付いた方も多いと思います。校門の門松は目を引くものだったのではないのでしょうか。

実はあの門松、中山地区の4校(中山小・高嶺小・片倉台小・中山中)合同で作りました。去る12月に中山小で、地域の方の手ほどきを受けながら、竹を切り出すところから行いました。昔ながらの文化を継承するだけでなく、4校合同で作ったことで、地域・学校間の連携強化も図れたと考えています。今後も継続していきたい取り組みです。



門松は各所に縁起を担いでいます。節が笑顔に見えるように竹をカットしたり、台座の荒縄の巻き数も7・5・3巻と、割り切れない縁起のいい数にしたりしています。

門松は、地域によって飾り付けが異なります。旅行の際には、学校に飾ってあった門松と、旅行先の門松の違いを見つけるのも楽しいのではないのでしょうか。

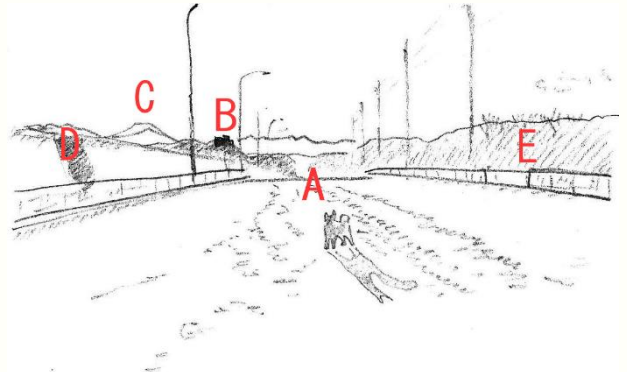
写真左 門松の台座を作っています。荒縄の巻は大人3人がかりで縛ります。
 写真右上 中山小の裏の竹林から、竹を切り出して運んでいます。
 写真右下 親子参加の様子から。竹を斜めに切るのは難しいね！

中山地区今昔写真コーナー ～コープ前の道路～

中山地区の今昔を比べる写真コーナーです。お手元に昔の中山地区の写真を持っている方がいらっしゃいましたら、ぜひはくさん編集委員までご連絡ください。



撮影 佐藤 哲さん 1992年頃



A コープ前の道路
 B 片倉台小学校
 C 富士山
 D 北野台5丁目につながる階段
 E 現コープ



現在のコープ前

この写真が撮影された頃より前は、この辺りは里山になっていました。国道16号や片倉方面に行くには、大回りする必要がありました。記憶にある方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

北野台5丁目の造成が始まった1992年頃に、この道路は造られました。みなみ野駅はまだありません。

現在は大きくなった街路樹や住宅に隠れて見えない富士山を当時は見ることができました。

子どもも大人も楽しく成長できる

青少対事務局長（中山中副校長）

鍋島 宏司



「餅つきならやったことありますよ」ある会話での一言から、地域の「餅つき大会」に参加することになりました。

1月5日(日)青空の穏やかな天気。竈の準備から参加させていただきました。私が薪をくべて火の調整をしていると、興味をもった小学生が「やらせてください」とやって来ました。火傷などを負わないように少し注意の後、「では君がこの竈の責任者！」と任せました。時折見に行くと、「状況は？」と私、「順調です」との回答。真剣なまなざしで、竈の調整を行っていました。適度に炎を保つには、どのような時に、どの薪をくべれば良いか、自分なりに考えながら取り組んでいるようでした。

「転ばぬ先の杖」、ついつい大人は子どもが失敗しないように手を出してしまいがちです。もしくはあらかじめ成功するレールに乗せようとしたりします。でも、私はもっと子どもに失敗させてあげていいと思います。もちろん、大きな怪我につながったり、命に関わったりするような失敗は避けた方がよいし、人を傷つける行為は厳しく戒めるべきです。しかし、子どもに失敗を許してあげない社会は酷だと思えます。そして、失敗や困難に対して脆弱な子ども(やがて社会を担う若者)ばかりをつくってしまうのではないかと心配します。子どもが安心して失敗できる、子どもが子ども自身で学びを深めることができる地域・社会を作っていきたいと私は考えます。

今回の「餅つき大会」に参加するなかで、いろいろ考えることがありました。地域の行事は「楽しい」ことに加えて、子どもも大人も成長させてくれる大切な機会だと改めて思ったのです。

地域クリーン作戦

10月27日(日)に、クリーン作戦を行いました。当日はとても良い秋晴れで、汗ばむほどの暖かさでした。それぞれのルートを回り、ゴミ拾いを中心に活動を開始。いつも何気なく通っている道にも、よく見るとゴミがたくさん落ちていることに気付かされます。ゴミの少ないエリアでは、歩行者が歩道を歩きやすいように簡単な草取りを行い、清掃をしました。みなさんのご協力のおかげで、きれいな街にすることができました！

【回収したごみの量】

可燃ごみ	6袋
不燃ごみ	1袋
プラごみ	2袋
缶	2袋
ビン	1袋
ペットボトル	2袋
草木	5袋
その他	1袋



焼き芋みやげ



昨年度に続き、2度目の焼き芋みやげでした。数週間前からボランティアで薪を集めたり、当日も朝早くから、芋を包んで準備をしたりと大勢の方々のご協力のもと、焼き芋ができました。クリーン作戦に参加された方に一人ひとつずつ、立派な焼き芋のプレゼントをお渡しすることができました。…が！今回はなぜか焼き芋の味がいまひとつだったとの感想が多数寄せられました。昨年は夏の暑さが例年に増して厳しく、そして全国的にもさつま芋はかなりの不作の年でした。大きさも小ぶりでも落ちているようです。ちょっと残念…。

～さつま芋の豆知識～

焼き芋に適していると言われるさつま芋は『安納芋』・『紅はるか』・『シルクスweet』・『紅あずま』などです。

ちなみに、昨年度は『シルクスweet』、今年度は『紅あずま』でした。

さつま芋の保管は土がついたまま洗わずに新聞紙で包み、13～14℃の場所に置き、2週間～1ヶ月ほど保管。低温障害をおこすので、寒くなりすぎるのはNG。なので、冷蔵庫での保管もNGです。



《編集委員》小西知子 森直美 藤沼俊成
田口恵 片山福子 菊地実 原田雅子
古畑恵一 飯沼夏美 上村圭子 中島聡美
櫻井宣子 (まんが) 中村悦子

《編集後記》早いもので、今年度最後の「はくさん」の発行となりました。今号はいかががでしたか？皆様にご覧いただき、ご家庭での話題の一つにしていただけたら幸いです。今後とも「はくさん」へのご協力をよろしくお願いいたします。

心ぶき、いままでありがとう・・・
中山小の山羊の「心ぶき」が1月18日に永眠いたしました。

心ぶき 15年間
ありがとう・・・

令和6年度 青少対中山地区年間活動報告

- 6/22(土) 総会(中山中)
 - 7/7(日) 第1回 青少年育成環境一斉クリーン活動
子どもの安全に関する情報交換会(片倉台小)
 - 10月 広報紙「はくさん100号」発行
 - 10/27(日) 地域クリーン作戦(高嶺小) ※参加人数230名
健全育成標語表彰式
 - 1/25(土) 地域研修会(高嶺小) ※会場&オンライン開催
 - 3/8(土) 第2回 青少年育成環境一斉クリーン活動(予定)
 - 3月 広報紙「はくさん101号」発行(予定)
 - 各学期始め あいさつ運動
- ～ご協力 ありがとうございました～



はくさんまんが

「ちょっと待って! そのバイト、本当に大丈夫?」の巻

多発している闇バイト犯罪。「楽で、簡単、高収入」など甘い言葉で誘います。友だちの誘いや気軽に目にするSNSで、悪意なく手を染めてしまう犯罪です。日頃から、「おかしいな」と感じたことは、必ず! 周りの大人に相談しましょう。

警視庁「いわゆる闇バイトの危険性について」
(闇バイトの事例や相談窓口についての啓発サイト)



政府広報オンライン
(怪しい有害サイトの通報窓口について)

